



令和4年度文化庁芸術祭参加公演

金春流  
能

第十七回

山井綱雄之會

金春流

能

# 砧

和泉流

狂言

# 鬼瓦

高澤

祐介

山井 綱雄  
佐々木多門  
(喜多流)

2022年11月4日(金)  
18:30 開演  
国立能楽堂



Y A M A I T S U N A O N O K A I

金春流能  
第十七回  
**山井綱雄之會**

令和四年十一月四日(金)  
十八時半開演  
国立能楽堂

解説 羽田 昶

能楽研究者・武蔵野大学客員教授

狂言 鬼瓦

シテ 大名

アド 太郎冠者

後見

休憩

能 砧

シテ 前/芦屋某の妻

後/妻の幽霊

ツレ 侍女夕霧

ワキ 芦屋某

アイ 下人

笛

小鼓

大鼓

太鼓

後見

地謡

中村 昌弘  
井上 貴寛  
本田 芳樹  
政木 哲司

高橋 忍  
本田 光洋  
金春 安明  
辻井 八郎

横山 紳一  
金春 憲和  
山中 一馬

竹市 学  
大倉 源次郎  
亀井 広忠  
桜井 均

館田 善博  
高澤 祐介

山井 綱雄  
佐々木 多門  
(喜多流)

高澤 祐介  
前田 晃一  
金田 弘明

終演予定 二十一時

狂言 鬼瓦 おにがわら

訴訟ごことがあり、長い間都に滞在していた大名は、晴れて勝訴し国元への帰参が許された。これも信仰していた因幡堂の薬師如来様のお陰と、太郎冠者ともにお礼参りをすることに。この薬師様を勧請したいとお堂をよく見ているうちに、鬼瓦を見つけ、大名は突然泣き出す。国元に残した妻への思いが、温かく伝わってくる作品。

能 砧 きぬた

九州の芦屋の領主は、訴訟のために三年間も在京している。妻を一人残した故郷を心配し、侍女の夕霧を使わす。妻は夫の無情を嘆き夕霧に恨みごとを言うが、里人の打つ砧の音を聞き、唐土の蘇武の故事を思い出す。秋の夜、夕霧とともに砧を打ち、夫を思い、心をなぐさめる。今年の暮れも夫は戻れぬという知らせが届くと、妻は失意のうちに病になり、命を落とす。夫が帰国し弔ううちに、妻の亡霊があらわれ恨みの様を見せるが、夫の読経により遂には成仏していく。

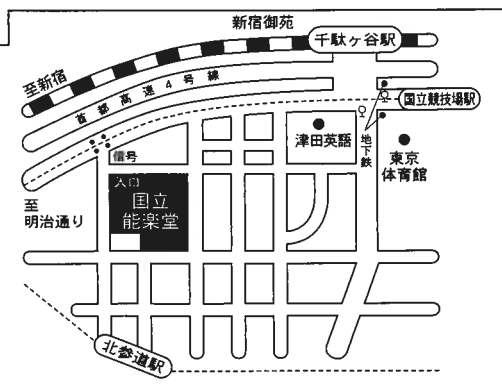
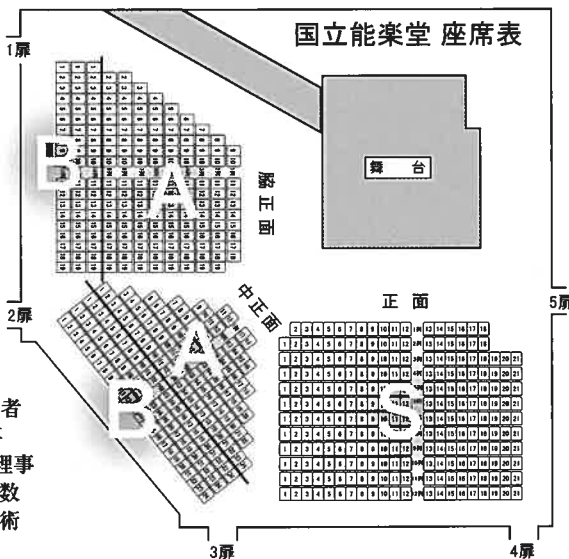
※砧

木槌で布地を打って柔らかくし、つやを出す道具。



金春流能楽師  
山井 綱雄

重要無形文化財(総合指定)保持者  
公益社団法人能楽協会本部理事  
公益社団法人金春円満井会常務理事  
ワークショップ、学校公演など多数開催。海外公演や他ジャンル芸術家との共演・創作作品多数。能楽の新たな可能性にも挑む。



◎入場料(全席指定)

●「綱雄の会」先行受付

7月26日(火)~8月3日(水)

一般発売日 8月4日(木)~

S席 ●10,000円  
A席 ●8,000円  
B席 ●6,000円  
学生席B席 ●3,000円

チケットのお求めは

カンフェティ Confetti

<https://confetti-web.com/>

Tel ● 0120-240-540(通話無料)

(受付時間 平日10:00~18:00)



主催: お問い合わせ

山井綱雄事務所/綱雄の会事務局

Tel ● 070-6526-0270

(受付時間 平日10:00~17:00)

Web ● <https://tsunao.net>

JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅  
下車徒歩5分  
都営地下鉄大江戸線  
国立競技場駅 下車徒歩5分  
東京メトロ副都心線  
北参道駅 下車徒歩7分  
駐車場がございませんので  
お車でのご来場はご遠慮ください。

**国立能楽堂**

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1  
Tel:03・3423・1331